

検査結果

2008年11月6日（木） 11時

天気 晴れ

水を取った場所 最上川上流 大平橋付近（山形県米沢市）

川幅約40メートル

秋晴れの気持ちの良い日で、水がきらきら光っていた。

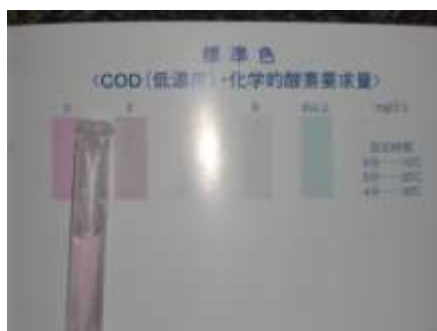
水の色は、少し白くにごったエメラルドグリーン。



1. COD（化学的酸素要求量）

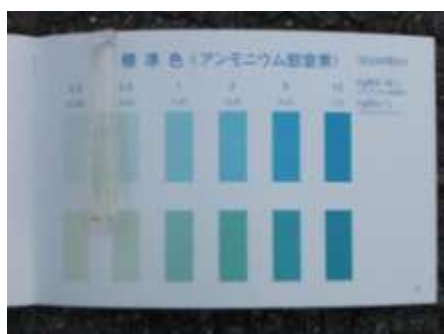
測定結果 0と2の中間の1くらい、うすいピンク色だ。

水の中に反応しやすい物質はほとんどないようだ。



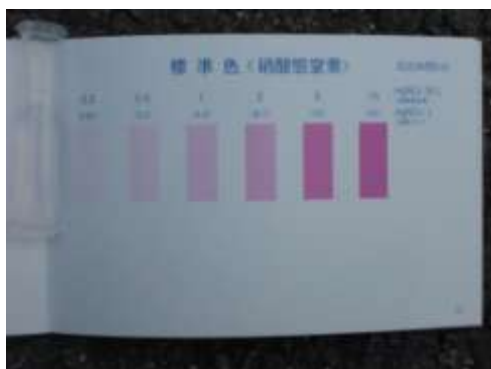
2. 窒素 アンモニウム態窒素

測定結果 0.2の色に近い。このあたりはとてもきれいなようだ。



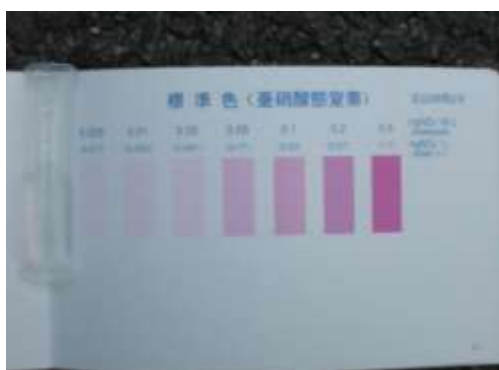
亜硝酸態窒素

測定結果 0,005の色に近い。きれいだと言える。



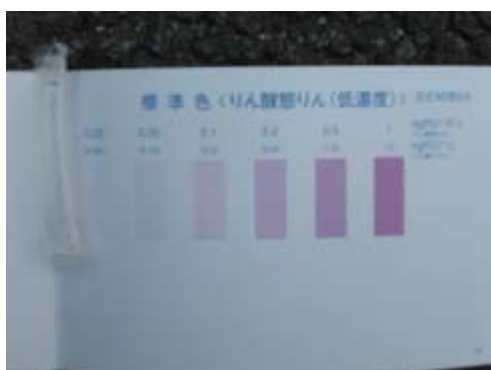
硝酸態窒素

測定結果 0,2の色に近い。きれいだと言える。



3. リン酸態りん

測定結果 0,02の色に近かった。川の外から食べ物のカスや肥料はほとんど入ってきていないようだ。



全体の結果と感想

今回調査した最上川上流は、見た感じも、検査結果もとってもきれいな水でした。

でも、魚や生き物がひとつも見つけられず、変だなあと思いました。

後で、何人かの人に聞いてみたら、昔、鉱山を掘った時の鉱毒がまだ流れていて、それで魚が住めないという話でした。そうだったのかと驚きました。

ぼくはがっかりしました。川が早く元通りになり、魚が住めるようになるといいなあと思いました。

2008. 11. 9 庄司輝（小4）